

# 南仏治安情報（2011年7月）

## ■プロヴァンス地方

### 1. 宝石店を狙った強盗事件が多発

6月末から7月にかけて、地方紙が報じたものだけでもプロヴァンス地方において強盗事件が22件発生しました。発生地域については約半数の10件がマルセイユ市内で発生しており、またエクス・アン・プロヴァンス市でも6件発生しています。被害現場はショッピングセンター内の宝石店が多く、繰り返し被害に遭う店舗もあり、店員や買い物客が巻き込まれる事件も多く見られています。

### 2. マルセイユ市内での装飾品を狙ったひったくりの多発

金の装飾品を狙ったひったくりが多発していますが、7月にはマルセイユ市内で13件の発生が報じられました。被害者のほとんどは女性であり、その手口は路上で暴行を加えてひったくる、複数人による電車内での犯行等ですが、中には信号で停車中に暴力を振るわれネックレスを盗られるものもありました。十分ご注意ください。

### 3. マルセイユ～エクス・アン・プロヴァンス間のSNCF路線の治安悪化

以前から治安悪化が問題となっていたマルセイユ北部を通る地方鉄道路線で、若者による麻薬取引や乗客への恐喝、駅構内の備品への破壊行為などが後を絶ちません。特にマルセイユ～エクス・アン・プロヴァンス間は被害が多く、麻薬取引が公然と行われている状況です。当路線を利用する場合は夜間を避け、日中でも十分に注意をするようにしてください。

### 4. イノシシの出没に注意

カラंक地域では近年イノシシの生息数が増加しており、市街地にまで餌を探しに出没してきています。原則としてヒトを襲うことはありませんが、餌に引き寄せられて犬や猫を襲ったり、路上で車などと接触して交通事故を起こしたりします。イノシシは成長すると百kgを超えるものがありますので、餌付けなどしないよう注意が呼びかけられています。

## ■コートダジュール地方・コルシカ島

### 1. 酔っ払いによる暴力行為の発生

7月中、ニース市内で泥酔者による喧嘩や暴力事件が5件発生しました。いずれも夜間から早朝にかけて発生しており、集団でのバーベキューや浜辺でのパーティーの際の飲酒が原因で、些細なことを理由に大規模な喧嘩へと発展するケースが見られます。他にも泥酔者により通行人が暴行を受ける事件も発生しています。夜間の外出の際はご注意ください。

### 2. 女性を狙った暴行事件の発生～親切な声かけに用心～

7月2日ニース市中心部で、19歳の女性が携帯電話を盗まれた後、暴力を受け強姦される事件が発生しました。これは2人組の1人がひったくり犯を演じ、もう1人が親切な通行人を偽って電話盗難の手続きのために自宅に送ると声をかけ、人気のない駐車場などに連れ込み暴力を振るう手口でした。パニックに陥る被害者につけこんだ凶悪な手口にご注意ください。

### 3. カード詐欺グループを逮捕

7月上旬にニース空港で、南仏～タイ・バンコクを中心に偽造クレジットカード取引を行っていたマルセイユ出身の51歳の男と25歳の女の2人組が逮捕されました。逮捕時、女は13万5千ユーロを所持しており、家宅捜索では1300枚以上の偽造カード、ガソリンスタンド用の暗証番号読み取り機などが押収されました。被疑者等は主に海外で偽造カードを使用していたとみられています。

### 4. コルシカ島内での事件の発生

- (1) コルシカ島では6月28日に Bastia 市でナショナリズム党員と親しい間柄の男性がスクーターで走行中、バイクに乗車中の2人組から射殺される事件が発生しました。
- (2) 7月18日には Solenza-Ventiseri 市の基地で、軍人所有の車両の下からガス爆弾が2つ発見されました。
- (3) 7月25日には5月に放火の被害に遭ったレストランの店主が、2人組の男に射殺される事件が発生しました。

## ■ミディ・ピレネー地方

### 1. 空き巣被害がミディ・ピレネー地方で増加

空き巣被害はフランス全土で頻繁に発生していますが、中でもオート・ガロンヌ県では2011年1月から6月の間に4150件と前年同時期に比べ39%増加、Tarn 県で224件と前年152件に比べ47%増加、オート・ピレネー県でも前年150件に比べ207件と増加しています。バカンス中は留守宅も多く更なる増加が予想されます。警察が実施している空き巣対策サービス (Tranquillité vacances) の利用や、空き巣の目撃情報の提供が呼びかけられています。

### 2. トゥールーズ市内の犯罪が減少

2011年1月から6月までにトゥールーズ市内で発生した対人暴力事件は、前年に比べ15%減少し、中でも刃物を使用した暴力事件が27%減少していることが明らかになりました。ただ、酔っ払いによる事件は後を絶たず、暴力事件全体の80%を占めています。Saint-Pierre 地区など週末に学生が集まって飲酒する場所は、特にパトロールが強化されています。

### 3. 工事現場での窃盗事件が増加

県庁の発表によると、オート・ガロンヌ県内の工事現場での窃盗事件は2011年1～6月の間に380件に上り、前年同時期に比べ15%の増加傾向にあることが明らかになりました。金属価格の高騰を受け、鋼ケーブルや重機が盗まれている他、工事車両のガソリンが抜き取られ盗まれています。

### 4. プールでの子供の溺死に注意

フランスでは子供向けの自宅用ビニールプールが普及しており、また自宅にプールがある家庭もありますが、夏季には毎年平均12件の死亡事故が発生しています。溺死は子供の死因の2番目に挙げられており、内訳は1歳以下が22%、1～4歳が34%、5～14歳が30%となっています。保護者が目を離した際に事故に至ることが多く、水深20cmでは僅か数分で声を上げることなく命を落とします。十分にご注意ください。

\* 以上の治安情報は、当地地方紙等から得られた情報に基づくものです。